



観光は平和への
パスポート

国連世界観光年宣言

JHS たより

平成24年6月20日(15,000部)発行

2012.6 Vol.45

学校法人 日本 ホ テ ル 学 院
発行所／専門学校 日本 ホ テ ル ス ク ル
財団法人 日本ホテル教育センター

〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)
<http://www.jhs.ac.jp> <http://www.jec-jp.org/> FAX.03-3360-8584

英語専攻科：授業の75%を英語で

～グローバルな人材育成への挑戦～

国内外資系ホテル・海外ホテルへの就職



ザ・リッツ・カールトン東京 副総支配人Radu Cernia氏による
英語専攻科1年生 料飲宴会実務の特別授業

英語専攻科という学科名だけでは、内容が理解できないかもしれません。基本的にホテル科と同じカリキュラムですが、授業の大半を英語で行い、内容を英語で理解していくものです。これにより、国内外資系ホテル、海外のホテルでの就労に役立て、海外の大学進学への編入を容易にすること、更に少数の学生が先陣を切ることで、学生全体への波及効果を期待しています。

2006年に英語専攻科を設置、当初50%以上の授業を英語で、現在では75%の授業を英語で実施しています。既に累計147人の学生が学び、成果をあげつつあります。国内ホテルでは、英語を使わない部署も多く、英語が必ずしも必要ではありませんが、外国人利用率の高いホテル、国内外資系ホテル、海外ホテルへの就職、そして海外の大学進学においては、有利あるいは必要不可欠な条件となっています。

一般的に、海外志向者には、就労TOEIC 750点以上、進学TOEFL 550点以上が目安。本校では、通常週5時間の外国語の授業を行っており、在学中に二回の全員参加による海外研修旅行や英語弁論大会などグローバル化に向けた教育機会はありますが、特別の機会として、1年間のホームステイと現地で学ぶ「カナダ・オーストラリアへの留学制度」、そして国内に居ながら英語による授業で学ぶ「英語専攻科」があります。学生から語学留学の相談もありますが、英語学習だけの語学留学はあまりお勧めしていません。

語学はあくまでも手段であって、内容が

伴わないとそれ以上伸びないからです。また仕事に必要な専門を英語で学ぶことが、仕事に活かせる有効な実用的な方法であるからです。日本の観光系の専門学校、短大、大学でこうした教育体制をとっている所は、非常に少ないものです。

幸いにも、ホテルの仕事は世界共通、仕事を覚え、語学が出来、異文化への適応力があれば、世界中どこの国でも活躍できます。毎年、卒業直後25~30名が海外へ赴任、また約70名の卒業生が海外で活躍している今日、卒業生の皆さんのが夢実現に向けて、更に体制を整備していく過程にあります。どうぞご期待ください。

CGB世界コンクール

河野秀次郎君

日本代表で出場

校長 石塚 勉

昨年10月23日、サービス・コンクールの最高峰「クープ・ジョルジュ・バティスト サービス世界コンクール=C G B W C」最終選考会で、河野秀次郎君が、第一次書類審査と小論文、第二次面接などの予選を経て、応募者19名中、第1位となり、日本代表に選ばれました。松岡杏奈さんも3位という成績、本校にとって、大変に栄誉な結果を得ました。河野君は、2012年11月8日、世界コンクール東京大会において、日本代表として、欧州、北中米、アジア15か国からの15名の各國代表選手と競います。



C G B W Cとは、フランスのホテル産業相互協会組合を母体とする欧州で、最も権威のある、料理・コンクールと並んで評価の高いサービス・コンクールで、その技術を競うもの。フランスでは、料理と同様にサービスの国家資格があり、その存在が認められています。1961年プロ部門、1975年学生部門の開催以来、サービス業界のプロと学生を対象にフランス国内コンクール及び欧州コンクール、世界コンクールを開催しています。日本でのC G B W C開催は、これが初めて。河野君もこれから実技訓練に臨み、世界一を目指しますので、皆さんの応援をよろしくお願いします。



左よりオリヴィエ・ノベリ世界コンクール理事、河野秀次郎君、フィリップ・スタンダート 世界コンクール理事、松岡杏奈さん、フレデリック・カイザー世界コンクール理事。2011/11/15 プレス発表式。



フィリピン・セブ島
シユノーケリングに挑戦



マレーシア・クアラルンプール
ツインタワーを背景に集合写真



フランス
凱旋門前にて



マレーシア
イスラム寺院見学

[2011年度渡航先]

昼間部1年生 マレーシア (295名参加)

夜間部1年生 マレーシア (168名参加)

昼間部2年生 ヨーロッパ、アメリカ (232名参加)

夜間部2年生 ヨーロッパ、香港＆シンガポール (66名参加)

フィリピン・セブ島 (89名参加)

※2年生の渡航先は選択制



タナシヨ・ロスカボス
初めての乗馬体験



フランス
モンサンミッシェル見学



香港
「曇大仙」訪問



シンガポール
マーライオンと記念撮影



留学生 15名の学校生活がスタート ～学生生活をサポート～



今年度入学した留学生は、韓国、台湾、中国、インドネシア、スウェーデンからの15名です。

学校生活のことから、実習、アルバイト、ビザについて等、学生生活を安心して過ごせるよう教職員全員でサポートしていきます。

第41期生 入学式典を挙行 ～474名が入学～

2012年度の入学式を4月6日、なかのZERO大ホールで挙行しました。

ホテル・ブライダル業界をはじめとする多くの来賓や保護者の皆様が見守る中、474名の新入生はそれぞれの夢実現に向けて第一歩を踏みだしました。

第2部では入学オリエンテーション、クラス担任紹介、クラブ・同好会紹介、「スマイルフォトコンテスト」の表彰式などが行われました。



入学の言葉
新入生代表 竹島千絵さん

2012年度 1年生担任

A	吉岡康子	G	島田雅輝
B	川辺 修	H	井口恵子
C	名嘉原安智	I	小野昭彦
D	水澤伸介	J	下田憲司
E	石塚 崇	K	川上忠道
L	江口 幸		

2012年度留学生 69名が出発

～オーストラリア・メルボルンへ19名、カナダ・バンクーバーへ50名～



成田空港にて 担任の井上先生と

オーストラリア・メルボルンに留学する学生19名、カナダ・バンクーバーへ1年間留学する学生50名が、3月31日、4月14日にそれぞれ成田空港を出発しました。当日は、保護者、友人が激励のため、空港に集まり、励ましの言葉を送っていました。

2012年度から新しく渡航先としてスタートしたカナダ・バンクーバーでは、3週間のオリエンテーションの後、ESL (English as a Second Language) コースで8月上旬まで勉強、英語力を向上させ、後期から始まる Hospitality Management コースで学習できるよう備えます。



ご父兄の見送りを受けて



ダグラス・カレッジ 全景

メルボルン、シアトル校で修了式

～シアトル32名、メルボルン25名～

オーストラリア・メルボルン、アメリカ・シアトルへ留学中の学生57名が、10ヶ月の留学プログラムを終え、1月27日修了式に出席しました。

修了式には、お世話になった先生方や関係者、ホームステイ先のホストファミリーなど沢山の方々が出席、ご祝辞を頂きました。



10か月の過程を修了(シアトル)

JHS 学生会館



日本ホテルスクール直営の女子専用学生寮「JHS学生会館」はホテルスクールまで乗り換えなし、45分で通学可能。

部屋は約21m²、バス・トイレ別。テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、エアコン、ベッド、机、イス、カーテン、洗濯機を完備。乾燥機付きのバスは快適。鍵はオートロック式なので、防犯にもしっかりと対応。コミュニケーションスペースもあり、友達と授業の予習・復習もできます。

また、管理人も常駐しているので、安心できる環境が整っています。

「JHS 学生会館」新入寮生の歓迎会を実施

～JHS学生会館 浦安・妙典 56名の新入寮生が参加～

「JHS 学生会館」では、毎年新入生歓迎会を実施しています。「JHS 学生会館 浦安」は4月15日に33名、「JHS 学生会館 妙典」は4月27日に23名の新入寮生が参加。装飾や飲食の準備は館長と2年生が行い、自己紹介、ビンゴゲーム大会など、初めて親元を離れて生活する寮生同士が楽しい一時を過ごしました。

笑顔と活気に満ち溢れ、館内設備の充実さに満足している様子でした。



学生会館 浦安



学生会館 妙典

「JHS 学生会館」は、主に実家から通学困難な学生の経済的負担を軽減するために建設した女子専用寮で、2009年3月に「JHS 学生会館 浦安」、2011年4月には「JHS 学生会館 妙典」が完成、両会館合わせて現在約180名が入寮しています。

ブライダル科2年生による「ブライダルゼミ発表会」を開催 ～プロの前でウエディングプランを発表～

ブライダル科2年生によるブライダルゼミ発表会を2月23日にハイアットリージェンシー東京で開催しました。

この発表会は、2年間の学びを基に企画したオリジナルのウエディングプランを発表するもので、当日は現役のブライダルコーディネーターやブライダル業界関係者など85名の方々が出席しました。

今回は、「絆～新しい結婚式」をテーマに9つのプランの発表を行い、前半は、夫婦の絆、家族の絆、国と国との絆、地域の絆に注目したプランを発表し、後半では、スマートフォンやタブレットを使ったプラン、草食系男子に向けたプラン、ドラえもんの道具をブライダルの現場で使用する企画など、これから時代を予測した新しいアイディアを披露しました。また、パソコンや音響・照明を活用し、プラン内容をよりよく伝わるよう工夫を凝らしていました。

大勢の方の前での緊張したプレゼンテーションとなりましたが、学生たちの真剣な姿に参加者の皆さんからは、「プラン内容が面白かったです」、「とても勉強になりました」、「また参加したいです」というたくさんメッセージをいただきました。

また、公益社団法人日本ブライダル文化振興協会(BIA)専務理事・事務局長 野田兼義様からの総評では、「皆、方法論を考えた上での発表で素晴らしいでした。5年後、10年後に繋がりますね」と好評価をいただきました

英語による特別授業を実施

～英語専攻科～

Kavin Bloomer 氏による英語面接指導

国内22のホテルを運営する米国投資銀行モルガン・スタンレー エグゼクティブディレクター Kavin Bloomer 氏が来校し、2月28日、英語専攻科を対象に英語面接のスキルを伝授する特別講義を行いました。

Bloomer 氏は、面接に必要な基本事項から英語面接で必要な5つのポイントを学生に伝授し、面接ロールプレイを含めた授業は学生にとっても、今後の就職活動の参考になったようです。学生は恥ずかしがり

世界各国からの訪問者 深まる国際交流

タイ王国

～I-TIM ホテルスクール～

バンコクにある International Hotel and Tourism Industry Management School (I-TIM) の理事長 兼 Thima Thani Hotel 代表の Mr. Kongkrit Hiranyakit 氏、ならびに関係者総勢9名が2月24日に来校し、本校との連携を求めて情報交換を行いました。

I-TIM は、1988年にタイ王国で最初に設立されたホテルツーリズムマネジメントスクール。2年制のI-TIMは、2年間でDiploma(学位)が取得できるDiplomaプログラムと、1年間のCertificate(修了証書)プログラムがあるタイ王国で唯一のホテル単科の専門学校です。I-TIMは本校と同じく、スイスのサービス実務環境、また、アメリカのマネジメント環境をカリキュラムに取り入れています。

施設見学では、施設の素晴らしさや環境の良さに驚き、良い部分を学校運営に活かしていくといふとお話ししていました。

また、当校が開発しているテキストや、HMS(Hotel Management Simulation)・HOP(Hotel Operation Program)のシステムには大変興味を持たれ、石塚理事長に熱心に質問されていました。

フランス

～ホテル経営者～

フィリピン

～パーカペチュアル大学～

～JHS同窓会便り～

第37回 JHS同窓大学開催 ～舞浜のヒルトン東京ベイにて～

第37回「JHS同窓大学・舞浜」をヒルトン東京ベイで3月16日に開催し、卒業生・教職員計13名が参加しました。

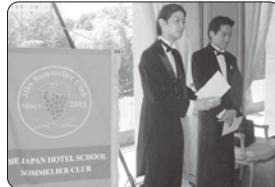
今回の「JHS同窓大学・舞浜」勉強会のテーマは「東日本大震災後の観光事情」とし、中島宣由紀同窓会会长が教授として講演。資料を基に震災後の観光・ホテル業界の実情、取組み事例等を紹介しました。更に同ホテル営業部長の阿部哲也氏から、震災直後のヒルトントワールドワイド、国内展開している8つのヒルトンホテルそしてヒルトン東京ベイのお客様対応、現在の取組みを紹介して頂きました。

勉強会後は懇親会を開催し、赤澤儀一氏のご挨拶に始まり、参加者全員の懇親、卒業生同士の近況報告、交流を深めました。

「JHS同窓大学」は、同窓会活動の一環として、同窓生の相互交流、生涯教育など、同窓生相互の絆を結ぶ活動として1996年度発足、翌年から活動を開始し、今までに37回、延べ590名の卒業生が参加しています。



第13回JHSソムリエクラブの会合を開催 ～ホテルニューオータニ「トゥールダルジャン」にて～



第13回JHSソムリエクラブの会合を3月21日、ホテルニューオータニにあるフランス料理レストラン「トゥールダルジャン」で行いました。当日は卒業生、教職員合わせ19名が参加しました。

トゥールダルジャンの本店はパリ・セーヌ川の畔に併むグランメゾンです。その世界唯一の支店である東京店での開催は、以前より会員から熱望されていて、ようやく実現しました。現在、日本を代表するソムリエが何人もこのレストランで修業していて、JHSソムリエクラブ会長の吉田誠さんも13年間勤務した店舗です。

当時は、1998年卒業の湯浅耕平ソムリエがワインサービスを担当して、シャンパーニュ、白ワイン、赤ワインの解説をしました。



海外で活躍する卒業生

マレーシア・ペナン - Traders Hotel Penang



ペナンのレストランにて
石塚校長と橋本さん

橋本久美さんは、マレーシア・ペナンにあるトレーダース ホテル ペナンでゲストリレーションズとして従事し活躍しています。「まだ若いので、すべての経験が学習です。将来に向けてキャリア形成に努めていきます」と謙虚に明るく語ってくれたのが印象的でした。

橋本さんは日本ホテルスクールを2009年に卒業。在学中には本校の海外留学制度を利用し、アメリカ・シアトルへ留学しました。その経験を活かし、卒業後は本校の海外ホテル研修生制度を利用し、中国・上海のインターチンチネンタル上海浦東へ研修生として赴任しました。さらにマレーシアのシャングリ・ラ ホテルでの実務を経て、現在に至っています。

カクテル同好会OB会を実施 ～卒業生とその家族 23名が参加～

日本ホテルスクールのクラブ活動の1つであるカクテル同好会OB会を2月11日に実施しました。当日は卒業生とその家族23名が集い、多摩川河川敷にてバーベキューを行いました。



多くの方がご家族での参加されました。お互いの日頃の仕事について熱く語り合う姿や、また、お互いの家族の紹介や子育てについて情報交換を行う様子がみられました。これをきっかけに家族ぐるみの付き合いへと発展したことでしょう。

尚、毎年春には在校生を交え参加者100名を超えるバーベキュー会を実施しています。このほかにもカクテル同好会では、普段はカクテルづくりを学んだり、夏休みや冬休みにはキャンプを行っています。

ボラボラ島 - Bora Bora Pearl Beach Resort & Spa

鈴木義嗣さんは2001年に本校を卒業した後、本校の海外ホテル研修生制度を利用し、スイスのHotel Airport Zurichで1年間研修を行いました。その後、マレーシアのShangri-la's Rasa Ria Resort、フランス領ポリネシアのソシエテ諸島にある島のSt.Regis Resort Bora Boraなどの勤務を経てホテルBora Bora Pearl Beach Resort & Spaに勤務、現在に至ります。

ボラボラ島ではフランス語を用いて接客を行っています。卒業後、ずっと海外で働いている鈴木さん。「働く環境や、現地の方の温かな人柄が好き」と海外で働く魅力を話していました。



左から:川辺先生、
鈴木さん、水澤先生

卒業生の皆様へ

= 海外からの求人情報 =

現在約70名の卒業生が海外で活躍しています。鈴木さんや橋本さんのように海外のホテルでキャリアアップを図りたい方は、積極的にご応募下さい。

■中国:マルコポーロ深圳(GRO 1名)

■モルディブ共和国:

- ① Taj Exotica Resort & Spa (GRO 若干名)
- ② Cox & Kings Maldives (GRO 若干名)

■ドバイ:① Asiana Hotel (レストランでのサービス)

- ② 日本食レストラン「喜作」(レストランでのサービス 3名)

詳細については、黒沢 (kurosawa@jhs.ac.jp) までお問合せ下さい。



バーベキューで親睦を深めました

賞金総額100万円「第1回観光立国学生懸賞論文コンテスト表彰式を実施」 ～ 最優秀賞（観光庁長官賞）は明治大学 政経学部新田功ゼミ 落合良さん他計5名に～

財団法人日本ホテル教育センターは、財団法人日本ナショナルトラストと共に昨年末実施しました、「第1回観光立国 学生懸賞論文コンテスト」の表彰式を開催しました。

このコンテストの趣旨は、「観光」を専攻する大学生、短大生、専門学校生に、観光立国の実現をサポートするため、観光事業に対する興味関心を高め、大局から業界を見つめる視点を養っていただくこと。

「観光立国で日本を元気にする方策について、私の提案」、および「観光資源保護におけるナショナルトラスト活動の役割について、私の提案」の2つのテーマで論文を募り、33編の応募の中から7名の外部審査員により、最優秀賞1編、優秀賞2編、合計3編の受賞が決定。2月21日に観光庁溝畠宏長官を観光庁長官賞プレゼンターにお迎えして、表彰式を開催しました。



最優秀賞：「文化を守る新しいナショナル・トラストの提案」

明治大学 政治経済学部 4年
新田功ゼミ 落合良氏（代表）、稻澤俊明氏、
上田祐介氏、高橋辰之氏、福島一郎氏 計5名

優秀賞：「街並み保存における観光地化の妥当性と
日本ナショナルトラストの役割」

立教大学 観光学部 交流文化学科 4年
福嶋礼依子氏

優秀賞：「マーケティング発想によるインバウンド施策」
東京YMCA国際ホテル専門学校 ホテル実務科
金ハンソル氏

11期ホテル塾・1期マイス塾 合同卒塾式を挙行 ～ ホテル産業経営塾14名・第1期MICEマイス塾10名～

3月2日、ホテル塾14名、マイス塾10名の合同卒塾式と懇親会を開催しました。卒塾式では、ホテル塾、マイス塾の優秀論文賞、優秀プレゼンテーション賞の発表と表彰式も行われ、最優秀論文賞には、ホテル塾からロイヤルパーク汐留タワーの若林和子さん「レベニューマネジメントからプロフィットマネジメントへ利益アップへのチャレンジ～」、マイス塾からロイヤルパークホテルの竹本寛さん「ホテルを核としたエリアMICE戦略～地域社会とのコラボレーションによるMICE獲得の提案～」、最優秀プレゼンテーション賞には、ホテル塾から東急ホテルズの浅野博さん「打倒！メジャーリーグ～外資系ホテルに負けないホテル運営～」、マイス塾からプリンスホテルの船渡川智さん「インバウンドMICEの現状と今後の課題」が選ばされました。



日本旅館国際女将会 香港大学100周年記念イベントに参加 ～ 女将さん6名が振袖の着付けなど日本文化をPR～

日本旅館国際女将会は、4月22日、香港大学の大学設置100周年記念祭に参加、振袖の着付けなど日本文化のPRに一役買いました。

香港大学では、学生たちに直接日本文化に触れてもらうと、外国語学部日本研究学科が06年から毎年4月を「Japan Month」として日本に関連する様々な催しを行っているもので、日本旅館国際女将会は初回から協力し、6回目となります。

「着物ワークショップ (Take a Photo in a Kimono)」では、在校生、卒業生など約500人が来場し女将さんが持参した着物を40名ほどの女性に着付けました。振り袖に初めて袖を通し、日本文化の体験に笑顔が溢れていきました。



トピックス

NOTTVに菊池研究員が生中継されました

2012年4月開局の日本初のスマホ向け放送局「NOTTV」に日本ホテル教育センターの菊池かをる主席研究員の国際ホテル学科ブライダル科「和食の基本」の授業が生中継されました。



和食検定試験日程

- 試験日：第3回基本レベル / 第2回実務レベル
2012年10月25日(木)
(2012年7月25日(水)より受付開始)
- 試験会場：検定本部が指定した場所
(東京／大阪／福岡／札幌)
- 検定料：基礎レベル 5,000円
実務レベル 8,000円
(詳細は <http://www.washokukentei.jp>)

◇◇◇ JHSたより 45号 ◇◇◇

編集責任者：石塚 勉
編集担当：黒沢由美子
連絡先：03-3360-8231
kurosawa@jhs.ac.jp